

OMC事務局
広報編集局
HomePage 担当

〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33
〒573-1171 枚方市三栗1-18-20
〒559-0033 大阪市住之江区南港中5-6-22-703
<http://www.omc-video.com>

合原一夫 Tel06-6833-9227
前田茂夫 Tel072-850-5781
坪井仁志 Tel06-6613-2836

平成28年9月(2016年)No 609

第20回大阪アマチュア映像祭 今年は8クラブ19作品が出品

大阪アマチュア映像祭も今年で20回目という一つの節目を迎えていきます。ここまで毎年欠かさず続けてこられたのも、大阪市立中央図書館さんのご理解、ご支援のお陰もありますが、一方、多くのご来場頂いている方々が多くいらっしゃるというお陰もあります。

思えば発足当初は、大阪市内に活動拠点を持つクラブ(天六ビデオクラブ、平野映像塾、住吉クラブ、富士シングル8友の会、OMC、OVCなど)で連盟を結成し、中央図書館にお願いして発表会を始めるようになりましたが、時代と共に市内に活動拠点を持つクラブが激減してしまい、当初からのクラブは我がOMCだけになってしまい、今やほとんどが大阪府下に活動拠点を持つクラブばかりになりました。大阪市立中央図書館にしてみれば、大阪府立図書館へ行ってくれと言いたいところかもしれません、幸いそうした声が聞かれずにはっとしています。代わりに申請書などの書類が増えてきて関事務局長の役割が増してきています(最初から10年ほどは口答だけですませていた)。橋下さんが市長になった年からうるさくなつたようです。とにかく、これからも中央図書館さんとは良好な付き合いのもと、今後も映写会を続けていきたいと念願しております。

大阪アマチュア映像祭

日 時: 平成 28 年 10 月 30 日(日)12 時 30 分開場、13 時開会

場 所: 大阪市立中央図書館5階大会議室、地下鉄千日前線西長堀駅上

◎OMC会員出品

- ①のすたるじー(9分)西村光雄 ②河川敷に咲く(7分)吉岡貞夫
- ③心の故郷・美山(10分)合原一夫

9月例会のお知らせ

- 第2例会、第3木曜 15 日 13 時より、皆さんの意見を聞きたい作品、リバイバル作品等もご持参下さい。時間があれば優秀参考作品等上映。
- 通常例会、第4土曜 24 日 18 時より、大阪市立難波市民学習センターで開催。
どちらの例会も、楽しいひとときを過ごしましょう。どうぞお越しを。

■合原会長作品がビデオサロン誌に掲載されました

9月号ビデオサロン誌にある春海書記 塙長の連載記事「秀作から学びとれ！」に合原会長作品「最後のたんぼ」が4ページにわたって詳細に載せられています。本文はホームページに乗せているのでご覧下さい。「秀作から学びとれ！」→HPへ

■有村博さんがビデオサロン誌に紹介されました

ビデオサロン誌8月号と9月号の2回にわたって「ビデオと人生」欄に有村会員が紹介されました。昭和37年W8時代から現在まで長く映像経験が豊富で数多くの全国コンテストに入賞されています。本文はホームページに載せています。「ビデオと人生」

■新入会員の3名のご紹介

先月見学され今月から入会されました。

・山城 覚 様 〒562-0036 箕面市船場西2丁目 7-11-202 tel.072-729-9267,090-3828-3100 E-mail:yamashiro@s.zaq.jp
・西條 伸樹 様 〒590-0405 泉南郡熊取町大久保南 1733-9-602 号 tel. 090-2193-8997 E-mail:ambest111@yahoo.co.jp
・弓取 克弘 様 〒531-0075 大阪市北区大淀南 2-2-43 tel.090-9702-5487E-mail:kmyumitoro035@gmail.com

8月通常例会レポート

今年は連日暑い日が続きますが、8月27日3名の新入会員を迎えて例会を開催しました。司会、合原氏、書記、前田氏、映写、井上、坪井の両氏、メモリ記録、江村氏、受付兼照明、森口、森下の両氏、掲示、紙本の各氏の担当で進行しました。

■出席者:赤澤、有村、井上、稻田、江村、紙本、合原、進藤、関、高瀬、坪井、華岡、西村(光)、西村(亀)、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本、新入会員3名弓取、山城、西條の計23氏。

■上映作品(講評は前田世話役です)

ミニ撮影会優秀賞作品

1. モノづくりに生きて(BD)

前田 茂夫 14分50秒

3月に行われたミニコン2位入賞作品です。ミニコン作品はこれまで2本上映されました

が、野田会員から贈呈された自叙伝「戦争に翻弄された青春」に感動し、この作品をドキュメンタリータッチで纏めようと思いました。満蒙時代の写真や、ネット映像、野田会員の8ミリ映画等を挿入し当時の御苦労を僅かでも表現できたらと思いましたが、人の一生を描くには誠に不十分な出来であったと反省しています。

2. ある駄菓子屋さん (BD)

前田 茂夫 5分50秒

京阪牧野駅前のさびれた市場でからうじて店を開けている駄菓子屋。周りにあったであろう店舗は閉じています。そこへ孫を連れて行って撮ってきました。10年前からは近所の子供たちが急速に減少し商売にならないそうです。長年やってきたからそのまま続いていると語ってくれました。何とも侘びしい情景でした。町の片隅でからうじて生きている駄菓子屋さんが今後も頑張って欲しいと願いながら…。

3. 三好政権誕生への道(BD)

紙本 勝 12分10秒

作者お得意の戦国武将関連の作品です。これまで沢山の戦国武将作品を送り出してこられました。ご本人は出来るだけ判りやすく作ったと語られましたが、この作品は誠に理解しやすく作られていると感心しました。沢山作るうちにそのノウハウを会得されたのでしょうか。戦国時代の阿波、畿の大名三好長慶の波乱万丈の物語です。今回はその前編です。今の徳島県三好市で生まれたが、吉野川の瀬で天下の英雄の大願をかけられたとの説がります。戦国時代は同族であっても殺しあうという時代でしたが、その世を生き延びて勢力を拡大し、細川政権を崩壊させ室町幕府を京都より放逐し三好政権を樹立する。その間の経緯を作品に纏めようとする壮大な作品です。このような歴史事実の作品を理解するには観る者も相応の知識の裏付けが必要です。小生自身もその後ネットで調べ再度見直すとよく出来た構成と画像使用により解りやすく作られていると思います。それにしても各地に足を運び撮影し、ネットや書籍から資料を搜し出し纏められる努力に只々敬服します。

4. 氷河クルーズ(BD)

華岡 汪 11分35秒

アラスカの大氷河を巡る旅に行って来られた記録作品です。ターナゲン入り江を東に行き、途中で紅サケの遡上も見学します。鉄道と道路との共用トンネル(4km)には目を見張りました。1本のトンネルを列車とバスが共に利用するという珍しい光景に驚きました。いよいよ氷河クルーズに乗って氷河見物です。途中ではラッコの姿、氷河の崩落を期待している観光客が楽しそうです。やがてブラックストーン氷河に到着し、しばし待つも崩落は起こらず、次のビロイト氷河に移動し、それぞれ30分待ったが残念ながら崩落を見ることが出来ませんでした。大自然の出来事ですから人間がやきもきしても始まりません。今回のクルーズは誠にアンラッキーでした。しかし”間近に海岸氷河眺め、ラッコとも出会えて素晴らしい体験でした。”と結んでいます。

5. ベゴニアに日くれて(BD)

進藤信男 7分30秒

三重県の長嶋スパーランド内のベゴニア温室で撮ってこられました。ベゴニアは南米アンデスが原産で高温多湿の日本では育ちにくいそうです。9千平米の大温室にベゴニアが咲き乱れている様は誠に圧巻です。ベゴニアは多年生植物で、花の色、形とも多種に亘っており目の保養になります。花言葉は「片思い・愛の告白・親切・幸福な日々」とあります。見ていてウットリとした気分になりますが、環境音ノイズをカットしBGMだけにした方がいいと思います。ラスト近くの水音だけのSEは効果的だと思います。作品的には若い女性の見物者を入れてその目線で見た花々が続くと素晴らしいと思いましたが、実際には難しいでしょうね。

6. YOSAKOI' 13(BD)

江村一郎 8分00秒

2013年の本場よさこい祭りの作品。これまで何十本のよさこい作品を世に送り出してこられたので、常に新しい表現を取り入れたいと試行錯誤されています。今回はソラリーゼーションの多用で、効果の浅いもの、深く発色まで変えたもの種々あります。よさこい祭りの映像に何か自分の感性を付けて

作りをしたいという意図は感じられます。

7. 戦跡を訪ねて(BD)

西村光雄 9分00秒

沖縄県の宜野湾市を訪ねた時の記録作品です。旅行記、訪問記でなく、人の心に切々と訴える素晴らしい紀行作品になっています。嘉数の高台を訪ねると、戦死者を弔う慰靈塔が幾つも建てられています。戦死者で一番多かったのが京都府出身者であったことは初めて知りました。宜野湾市の高台からは普天間飛行場が望まれ世界一危険な飛行場の周辺市民の怒りが伝わってきます。沖縄根拠地司令官大田少将の電文「…沖縄県民斯く戦えり 県民に対し後世特別のご高配を賜らんことを」に心が裂かれる思いです。この言葉に我々は応えているのでしょうかというナレーションで結んでいます。大戦中に如何に酷い目に遭ったかは日本人なら誰でも知っているでしょうが、ことの本質、重大性をこの作品は改めて訴えかけてくれます。東シナ海が緊迫する今、日本人は日本を守るためにどうするべきかを真剣に考えることが大切だと思います。

8. 山紫水明(訂)(BD)

有村 博 9分41秒

今年の3月例会で発表された同名の作品を修正されて持参されました。今回は著作権フリーのBGMに置き換えたとか。屈指の有名観光地だけに大変人が多く中国語が飛び交っていたそうです。風景は青く澄んだ湖水と言葉では表現しきれない美しさすぎる風景に圧倒されます。さすが中国奥地には神秘的な深山幽谷の地があるのものと改めて感じました。しかし、探せば自国内に綺麗な水資源は幾らもあるであろうに何ゆえに日本に来て森林を買い漁るのか、彼らの不純な目的に恐怖を感じてしまいます。

9. 上高地(BD)

弓取克弘 10分00秒

新入会の弓取さんが名刺替わりに持参されました。上高地の作品はこれまで何本も観ていますが、この作品は美しい風景だけでなく人物(奥さん)を配したのが良かったと思います。ウグイスをアップで撮られたのは実に素晴らしいカットですね。山へ入ったときにウグイスの声を聞き、何とか姿を收

めようとしたが、成功した試しがありません。絶妙なタイミングで鳴いてくれました。作品はテロップで場所を紹介しているのでよく判ります。上高地の素晴らしさがよく判るいい作品です。女性の肩ナメで撮ったアップカットでもあれば女性の目線で見た綺麗な風景が表現できてさらに良かったのではとのコメントがありました。上高地の綺麗さがよく判るいい作品です。

10. シルクロード号(BD)

山本正夢 11分10秒

中国新疆ウイグル族自治州ウルムチからカザフスタンのアルマトイまでの1359kmを行く列車シルクロード号の記録作品です。早朝アラム湖畔を通り西へ向かいます。国境の町では中国側税関検査、カザフstan側税関検査を厳しく受けて通過します。この路線の圧巻はカザフ側のドストック駅での台車交換です。中国側の1435mmからカザフ側の1520mmへ客車を持ち上げて台車を交換しますが、何とも珍しい情景を作者は列車から一人だけ降りずに撮り続けます。これは鉄道ファンにはたまらない貴重なシーンです。この様子をジックリ見学できたのは作者が鉄道に詳しいという証でしょう。列車はその後カザフの大草原を経て終点到着し終わります。何とも珍しい台車交換を見せてもらって貴重な知識を得ました。線路幅が異なる理由は、かつて英國、ドイツで発達した鉄道が、西や東へ延伸するときに当時のロシアが鉄道でドイツから攻め込まれるのを嫌って、さらに広い広軌にしたためです。

11. クイーンエリザベス(BD)

坪井仁志 7分30秒

2010年10月に処女航海した総トン数90400トン、長さ294m、旅客定員2092名の超豪華客船です。大阪港へは早朝に入港し、夜出航していったという短い滞在だったようです。何しろあのデカい客船がゆっくりと入ってきて、夜には港内で転回して出航いく様子を克明に撮られておりその迫力に圧倒されます。大阪にはめったに来ないのでしょうね。珍しい映像を見せていただきました。船影の横側、後側から見ると上部構造が凄く大きく見えTOPヘビーのように思えて余計な心配をしてしまいました。

12. 踊れ！踊れ！さすらい祭(BD)

森口吉正 10分30秒

京都市北区の今宮神社で行われる大祭です。国の重要無形文化財に指定されており地域に根差した民俗行事とされています。平安の昔から京の都では桜の花が散るころ、花の精にあおられて疫病神が分散し人々を苦しめることから、厄病神を鎮めるために「やすらい祭」がはじまったそうです。花傘を先頭に、風流の装いを凝らして、鉢(かね)や太鼓をたたき、踊りながら氏子区域をくまなく練り歩き、疫病を納める。最後にお練り衆が神社に参拝して、踊りを奉納し無病息災を祈願する。作者はこのようなお祭り、行事ものが大変お得意で撮影の巧みさ、ナレーションの流暢さで観るものを見りの中に引き込んでいきます。素晴らしい作品です。

13. 祇園祭宵山(BD)

高瀬辰雄 3分15秒

祇園祭宵山の情景をご当地音頭にのせて作った作品です。さすがに地元の作者だけあって宵山の行事を隅々まで捉えています。ムードがあつていゝカットが沢山あり大いに楽しめました。3分15秒という短編なので。SEがラストに少ししかなかったのですが、途中のちまき売りの少女達の声、その前後の情景をSEだけにしてもう少し入れたらさらに宵山らしい雰囲気の作品に仕上がったのではないかと思いました。

14. エアーショー(BD)

赤澤與三郎 11分00秒

アメリカ北部のウイスコンシン州で1999年に撮影した航空ショーの作品です。なんでも連日1週間も続くという世界一のエアーショーとか。2枚翼の小型機が曲芸飛行をし、その翼の上で逆立ちをするシーンは驚きました。第2次大戦時代の軍用機も飛びますが、さすが超大国アメリカの地力ある一面を見た思いがしました。

■例会作品のデータベース化の現状と今後の課題(続)

前田 茂夫

長文につきHPでご覧ください。